



今治商工会議所青年部
第27号 会報誌

発行 令和3年3月31日
今治YEG総務広報委員会
印刷 第一印刷株式会社

今治



Islands 美しい島々の浮かぶ瀬戸内海

Active この街は活気に満ちあふれ

Marine 自然に育まれた白砂青松の海

Resort 人々の集う都市となって

Across この海と世紀を越える

International 世界へと翔たく……

Bridge 巨大な架け橋が姿を現した

写真提供: 今治 YEG 会員事業所
第一印刷(株)

ご挨拶

第36代今治YEG会長として皆様を支えていただきながら、何とか職務を全うできました。皆様本当に有難うございました。

会長としての一年間は新型コロナウイルスに振り回され続けた一年でありました。

一年間を振り返り、コロナ禍だからこそあらためて感じる事ができた今治YEGの底力は会長として一番嬉しいことでした。動けないもどかしさを抱える中、会員皆が今できることは何なのか、積極的にアイデアを出してきてくれました。「プレデリチケット」事業、献血大作戦、サイクリング、近隣の視察研修、タオルデザイン展のイオンモールでの展示会etc.これぞ今治YEGの底力だという事業に変容させて実施してくれました。今治クリテリウム事業も2022年秋の開催に向けて、今治YEGから旅立った実行準備委員会が立ち上がり、いよいよ本格始動です。

一方で会長として思いっきり踏んだアクセルは、万ストップする時は自分自身でブレーキをかけないといけないとは考えながら、それが直前のタイミングとなってしまう、会員の皆様には多大なる迷惑をかけてしまいました。最前線で段取りをしていただいた委員会には、本当に申し訳なくあらためてお詫びいたします。

会長をやらせていただく前後の私の気持ちの変化から、これからの今治YEGを担われるメンバーにお伝えしたいことが一つだけあります。会長に推挙



令和2年度 会長
原 竜也

いただいた時は、言葉を選ばずに言うとも面倒くさいな、遠慮させていただきたいというのが偽らざる気持ちでした。今ではやらせていただいて良かったという気持ちの方が強く、本当に貴重な得難い経験をさせていただけたことに感謝しております。今治YEGは会社ではありません。だからこそ、真に一丸となって事業を成し遂げるやりがいには想像以上のものがあります。是非ともチャンスがあれば役職を受けて活動してみてください。やって良かったというやりがいを必ずや感じられるものと思います。

次年度小島会長のもと、諸先輩方の尽力により築かれた今治YEGが更に発展することを楽しみにしております。私が成し得なかったことを一気呵成に進めてくれることと思います。それを見られるのも楽しみです。

目下コロナ禍の影響はまだまだ尾を引き、本当に厳しいのはこれからだと皆様覚悟を持って臨まれていると察します。又、人口減少による地域経済の収縮はこの今治も例外ではなく、今治YEGにも各メンバーにも非情なる逆風となる局面も予想されます。その時々で、今治YEGが今治を代表する若き企業家集団として全方位の活躍をされること、メンバーで力を合わせ、今治を盛り上げてくれることを祈念し、第36代会長としての最後の挨拶とさせていただきます。

皆様、やりがいのある一年間を経験させていただき、本当に有難うございました！

令和2年度各委員会事業報告

総務広報委員会

副会長	委員長	黒川 泰伸	
小島 秀範	副委員長	矢野 貴則	武田 繁親
		荒木 哲司	鳥井 亮良
		鳥生 武彦	

令和2年度の総務広報委員会は、1. 今治YEGホームページ・Facebookの管理・運営 2. 通常総会・臨時総会の開催 3. 第27号会報誌の発行 4. WEB上での会員名簿作成の4つの事業を行いました。

1. 今治YEGホームページ・Facebookの管理・運営

ホームページの更新とFacebookを使った情報発信を行いました。Facebookでは各委員長にご協力頂き、各委員会の事業を掲載しました。今治YEGが地域から求められる団体として、その存在価値を高めることができたと考えます。

2. 通常総会・臨時総会の開催

5月の令和2年度通常総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、電子会議形式での開催となりました。通常総会後の懇親会で予定していた卒業セレモニーは延期となりました。

10月5日(月)、今治地域地場産業振興センターにて、延期となっていた卒業セレモニーを開催しました。新型コロナウイルス感染症の感染防止策を徹底し、88名のメンバーに参加して頂きました。苦境の飲食店を少しでもお助けできるよう、飲食物は今治YEGメンバーの飲食店にご協力をお願いしました。短い時間でしたが、卒業生の盛大な送り出しができたと共に、メ

ンバー同士が楽しく懇親を深めることができたと思います。

3月19日(金)、令和2年度臨時総会を開催しました。令和2年度原会長から令和3年度小島会長へ、会長の記章の引継ぎが行われ、盛会のうちに終了しました。

3. 第27号会報誌の発行

本誌の発行に際し、原稿作成をして頂いた原会長・各委員長、取りまとめをして頂いた事務局の皆様、ありがとうございます。

4. WEB上での会員名簿作成

2年に一度の会員名簿作成の年でしたが、本年度は印刷・製本をせず、エンジェルタッチ上でのデータ公開のみと変更しました。初の試みであった為、試行錯誤もありました。データの作成等は事務局に頼りきりでしたが、3月上旬に無事公開することができました。

最後になりますが、ご指導を頂いた原会長・小島副会長、いつも自分を助けてくれた5名の副委員長と委員会メンバーの皆様、そして色々ご苦勞をお掛けした事務局の皆様、心より感謝を申し上げます。拙い委員会運営でしたが、多くの皆様に助けられ、あっという間の一年間でした。本当にありがとうございました。



会員交流委員会

副会長 大島 淳
委員長 杉野 大輔
副委員長 越智 信義 櫻井 拓真
宮道 勝敏 越智 亮太
渡邊 直人

令和2年度会員交流委員会では1. 会員交流親睦事業
2. 会員拡大 3. エンジェルタッチの管理を委員会事業として行いました。

1. 会員交流親睦事業

令和3年2月8日(月)に桑名ボウルにおいて、例会委員会と協力して「会員交流事業ボウリング大会」を46名の参加者で実施しました。コロナ禍の為、感染症対策を徹底し多少味気ない交流事業となりましたが皆様のご協力により感染拡大することなく実施できました。

会員交流事業は、ほかにマンダリンパイレーツ試合観戦なども予定しておりましたが、すべてコロナ禍により中止となり、最後のチャンスをくださった執行部の皆様に感謝申し上げます。また、ご参加いただいたメンバーの皆様や快く景品提供くださった皆様にも合わせて感謝申し上げます。

2. 新入会員拡大

今年度はコロナ禍ということもあり積極的な会員拡大活動ができませんでした。青年部卒業生や現役メンバーからの

ご紹介で14名のご紹介をいただき、ありがとうございます。また、プレデリケットや他委員会の事業で青年部の活動や支援などを知り入会してくださった会員もあり、合わせて感謝申し上げます。次年度以降も多数の卒業予定者がおられますので、今年度同様に新入会員のご紹介をよろしく願います。

3. エンジェルタッチの管理

新入会員のメンバーにエンジェルタッチ活用についての説明及びアカウントの発行を行いました。また、役員会においてエンジェルタッチの活用について周知徹底を行いました。

以上が本年度の事業報告になります。

最後になりましたが、原会長・大島副会長をはじめ副会長の皆様・各委員長・メンバーの皆様・委員会メンバーの皆様・事務局の皆様のおかげで一年の事業を終えることができましたことお礼申し上げます。



会員交流事業ボウリング大会

経営研修委員会

副会長 八木 伸樹
委員長 大澤 匠之輔
副委員長 重松 慶城 越智 昭仁
菊川 琢哉 篠原 章仁
越智 元

今年度の経営研修委員会では、10月25日(日)に、いまばり活性化委員会さんのサポートという形で清掃活動、11月14日(土)に視察研修(大三島)を行いました。

清掃活動では、当委員会も準備から一部一緒させてもらいましたが、当初予定の7月は、ちょうど当委員会では事業も白紙検討中の時期だったので、兄弟委員会ということで越智委員長からお声掛け頂いたことはとてもありがたかったです。

視察研修では、例年と異なり今治市内にて、「大山祇神社」様、「大三島プリュワリー」様、「大三島みんなのワイナリー」様、「WAKKA」様を訪問しました。今、しまなみ海道沿いの島しょ部ではIターンやUターンで新たな事業者さんが増えています。ずっと今治にいる私達ではわからない島しょ部の魅力や新たな視点を持っているそうした方々からお話を聞いてみたいということから大三島への視察となりました。訪問先ではそれぞれとても貴重なお話を聞くことが出来て、私達の経営のヒント(学び)とすることが出来る内容となりました。

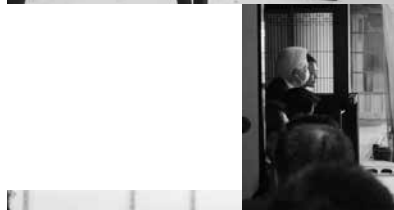
正式な委員会の開催自体は1回しか出来ませんでしたが、私たち自身も他委員会の事業をはじめ様々なYEG活動にいつも以上に大事に参加する気持ちがあり、結果的にはメンバー間の交流も出来て委員会活動が出来たのではないかと思います。

今年度、コロナ禍において白紙に戻して始まった当委員会の事業ですが、委員長としては良い案が浮かんでこない中、色々な方のアイデアや意見をもらったり、何気ない会話からヒントを得たり、なんとかあがいているうちに委員会で上記の案にたどり着きました。八木副会長を始め委員会メンバー

の皆様やヒントやアイデアを頂いた方々へは、本当に感謝しています。私自身、改めて一人の力よりもチームや組織の力の大きさを、YEG活動を通じて学ぶことが出来ました。最後になりますが、本年度数多くの場面でYEG活動がなんとか出来るよう舵取りをしてくださった原会長を始め、関係各所の全ての皆様へ感謝を申し上げて報告と致します。一年間、本当にありがとうございました。



視察研修(大三島)



例会運営委員会

副会長 小松 正義
委員長 須田 寛
副委員長 曾我部 寛 越智 一貴
渡邊 豪志 相原有理沙
世良 真教

令和2年度の例会運営委員会では、4回の例会運営、忘年会を計画しておりましたが、コロナ禍の状況により7月例会、12月忘年会は中止を余儀なくされ、9月講演会、10月例会、令和3年2月例会の3事業を行いました。

最初の事業として、令和2年9月16日(水)会議所において、新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、YEGメンバーに対して新型コロナウイルス関連支援対策についての講演会を開催いたしました。今治市より中内商工振興課長、YEGメンバーよりえひめ労務センター玉井代表、会議所より金尾企画指導課長の3名により、持続化給付金、家賃支援給付金、雇用調整助成金、特別融資についての講演を頂きました。この講演を聴くことにより、様々な支援策を知るきっかけとなりました。

2つ目の事業として令和2年10月5日(月)10月例会後、地場産業振興センターにおいて、総務広報委員会による卒業セレモニーを開催いたしました。本来であれば、5月の総会で令和元年度のYEG卒業生を送り出すところではありますが、コロナ禍により先延ばしとなっていました。原会長の強い意向もありまして10月に開催することが出来、メンバー一同盛大に卒業生を送り出すことが出来ました。

3つ目の事業として令和3年2月8日(月)2月役員会後、

桑名ボウルにおいてコロナウイルス感染防止対策を講じたうえで例会ボウリング大会を開催いたしました。会員交流事業として、メンバー一同が集えることの大切さや、元気はつらつとした楽しい時間を過ごせることを、再度実感することが出来たボウリング大会でした。

最後になりましたが、この一年を振り返ってみますとコロナウイルス感染症に大きく翻弄される年でありました。それに伴い再三の事業計画変更等、会員の皆様にご迷惑おかけしましたことをお詫び致します。本年度無事に事業が終えることが出来たのも原会長、小松担当副会長をはじめ、副委員長、委員会メンバー、事務局、皆さんの支えがあつてこそと深く感謝しております。一年間、本当にありがとうございました。



9月講演会

渉外委員会

副会長 小松 正義
委員長 渡邊 俊哉
副委員長 丹下 亮 榎 祐輔
智内 健太 深川 徹
村上 毅敏

令和2年度、渉外委員会の事業内容としましては「愛媛県大会・四国ブロック大会・全国大会への参加勧誘と各種手配」を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い上記の事業が通年通り行えませんでした。

渉外委員会の一歩最初の事業である愛媛県大会は早期の段階で中止が決定し残念な思いでした。

新型コロナウイルスの終息が全く見えない状況が続き、このままでは四国ブロック大会や全国大会も中止になるのでは？と思い、何か今できることはないかと原会長、小松副会長、専務常務、当委員会メンバーでWEB会議を行いました。

会議の結果、新型コロナウイルス流行で献血者が減ってしまった為、血液が不足している日本赤十字さんと一緒に献血をPRし少しでも献血の輪を広げ困っている人へ血液を供給しようとなり行動に移しました。

献血当日は梅雨が明けとても暑い中、献血受付が142名、400ml献血が123名と多くの方に献血に参加して頂きました。献血事業が無事成功できたのは多くの協力して頂いたメンバーがいてくれたからだと感じ感謝の気持ちでいっぱいでした。

新型コロナウイルスが少し落ち着いた10月は丸亀ブロック大会が開催され、初の試みとなる現地とWEBでの参加となりました。心配はありましたが感染対策を現地も我々も講じていたので無事1人の感染もなく終わりました。

そして、3月の全国大会は残念ながら全国的に新型コロナ

ウイルス感染拡大に伴い現地参加はできずWEBのみの開催になりました。卒業生と経験できる最後の大会だけに悔しさが残りました。

最後になりますが、YEGに加入し初めて委員長をさせて頂き多くの事を学び経験した貴重な一年でした。新型コロナウイルスの影響を特に受けた一年でしたので通年通りとはいきませんでした。その中でできることを探し考え実行できたのではないかと思います。

何より皆様の快い協力があったからこそ無事委員長をやり遂げられたのだと感じます。

一年間お世話になりました。ありがとうございました。



献血事業



四国ブロック大会 集合写真

地場産業振興委員会

副会長 小島 秀範
委員長 木下 誠
副委員長 藤原 勲
近藤 剛文
渡辺 仁
藤高 亮
村上 拓也

今年度の地場産業振興委員会は、主に2つの事業を行いました。

まず一つ目は第25回タオルデザイン展の運営です。今回は今治市内の小中学校・特別支援学校、姉妹都市の広島県尾道市・群馬県太田市・パナマのバハマ・ロシアのハバロフスクから募集を募りました。年々作品数、デザイン共に充実しています。

今年はコロナ禍の影響で例年行われている表彰式は残念ながら中止になりましたが、11月11日～20日の期間にイオンモールにて展示会を開催することが出来ました。例年より長い期間展示することが出来、より多くの皆様に見て頂けたと思います。

二つ目は11月11日のYEGの日ですが、より多くの市民の

皆様に知って頂く為に、Facebookにて活動内容をあげさせて頂きました。

最後になりますが、原会長、小島副会長をはじめ、委員会メンバーの皆様、事業にご協力頂いた皆様には深く感謝申し上げます。1年間ありがとうございました。



YEGの日



タオルデザイン展
審査会

いまばり活性化委員会

副会長 八木 伸樹
委員長 越智 宏幸
副委員長 近藤 省吾
芥川 幸次
玉井 健志
横田 綾
佐々木達耶

令和2年度いまばり活性化委員会は、いまばりYEG伝統事業『水軍鍋』のふるまい、経営研修委員会との合同事業として清掃活動を行いました。また、事業計画にありました『Yランドリーグ全国大会』は、コロナの感染拡大防止のため今年度は、残念ながら中止となりました。

水軍鍋は、10月11日に開催されました日本遺産フェスティバルin今治内で300食を無料配布致しました。コロナ禍であったこと、更に台風も近づいてきたため開催されるか不安でありましたが無事伝統ある今治YEG水軍鍋を行えました。準備段階では、多くの委員会メンバー・先輩の助け・アドバイスをいただきました。当日は早朝から多くのYEGメンバーにお手伝いいただき、大きなトラブルもなくスムーズに僅か15分での配布終了という本当に有難い結果となりました。

清掃事業は、コロナ禍でも何か密を避けてできる事はないかと考えた事業でありました。当初、夏に予定していましたが今治でのコロナ発生を受け、10月25日に開催いたしました。天候にも恵まれ、早朝からの40名近いメンバーで多く

のゴミを拾い今治の観光の中心でもある今治城の周辺をきれいにすることが出来ました。

毎年参加してきました、Yランドリーグ全国大会は、11月14日に徳島で開催予定でしたがコロナ禍で中止となりました。

最後になりますが、原会長・八木担当副会長をはじめとします役員の皆様、副委員長をはじめとします委員会メンバーの皆様、そして事業に協力・参加頂いたメンバーの皆様の助けと支えなくして事業は成り立ちませんでした。改めて心から感謝申し上げます。1年間本当にありがとうございました。



水軍鍋



清掃活動

みらい創造委員会

副会長 大島 淳
委員長 風本 崇
副委員長 中村 拓
西原孝太郎
村上奈津子
阿草 一彬
田中 良明

2020年度みらい創造委員会は、クリテリウム事業計画、サイクリストへ向けた魅力発信、サイクリング事業への参加・協力の3つの事業計画を立てました。

まず、サイクリング事業への参加・協力として「サイクリングしまなみ2020」への協力を予定していましたが、コロ

ナ禍によるイベントの中止により参加することができませんでした。

次に、サイクリストへ向けた魅力発信ということでメンバーにしまなみ海道の魅力を知ってもらえるようサイクリング事業を企画しました。20名の参加者と美しい瀬戸内の景色と美味しい食事を楽しみながら宮窪町能島までの往復40kmを全員で走りきることができました。初心者には少しきついコースでしたが全員リタイアすることなく走り切ることができました。走り切った表情には疲労感の中にも達成感がありしまなみサイクリングを楽しんでもらえたと思っています。

最後に今治YEGみらい創造委員会3年目の集大成のクリテリウム事業計画です。『今治クリテリウム2022』開催に向

けての準備委員会として会長より熱い想いをいただきスタートしました。コロナ禍の中でしたが何度となく委員会にて協議を重ね大会企画書を作成しました。愛媛県・今治市の担当課へ提出し、12月に青年部役員・1月に今治商工会議所会頭にもご説明させていただきご理解をいただきました。2月には実行準備委員会（楠橋実行準備委員長）を設立。無事バトンを繋ぐことができました。



サイクリング体験事業 集合写真

最後になりましたが、この壮大な事業を共に推し進めてくれた副委員長・メンバー、全力でサポートしていただいた原会長・大島副会長ありがとうございました。このメンバーで事業を行えて幸せでした。『今治クリテリウム2022』実現まで引き続きよろしくお願いします。

その他事業



今治プレデリチケット

第25回 タオルデザイン・アイデア展各賞受賞作品（デザイン部門）

★最優秀賞



えがおのにじいろくじらたち
富田小1年 岡部 未柚さん

★最優秀賞



今治の海
近見小4年 湯浅 維月さん

★最優秀賞



はらへるハンカチ
富田小5年 前田創志郎さん

★最優秀賞



みかんのしずく
北郷中2年 長谷部妃鞠さん

★今治市長賞



ばくも空をとんでみたいな
菊間小2年 松田 瀬仁さん

★今治市教育長賞



海月 海
西中1年 阿部 泰士さん

★今治商工会議所会頭賞



にじいろ ハッピー
太・生品小1年 鳥羽 莉乃さん

★審査員特別賞



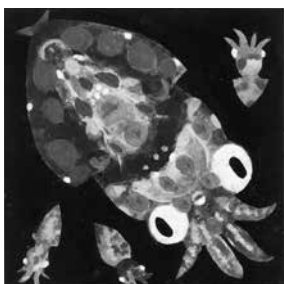
海の楽園
近見小5年 吉田 壮佑さん

★愛媛新聞社賞



プレゼント
波止浜小1年 上田 潤平さん

★今治タオル工業組合理事長賞



ヤリイカの赤ちゃん
乃万小4年 高木 康陽さん

★愛媛県産業技術研究所長賞



涼・金魚
乃万小6年 松田 夏歩さん

★今治商工会議所青年部会長賞



せかいのクワガタカブトムシ すいかにしゅうごう!
伯方小1年 阿部 紘大さん